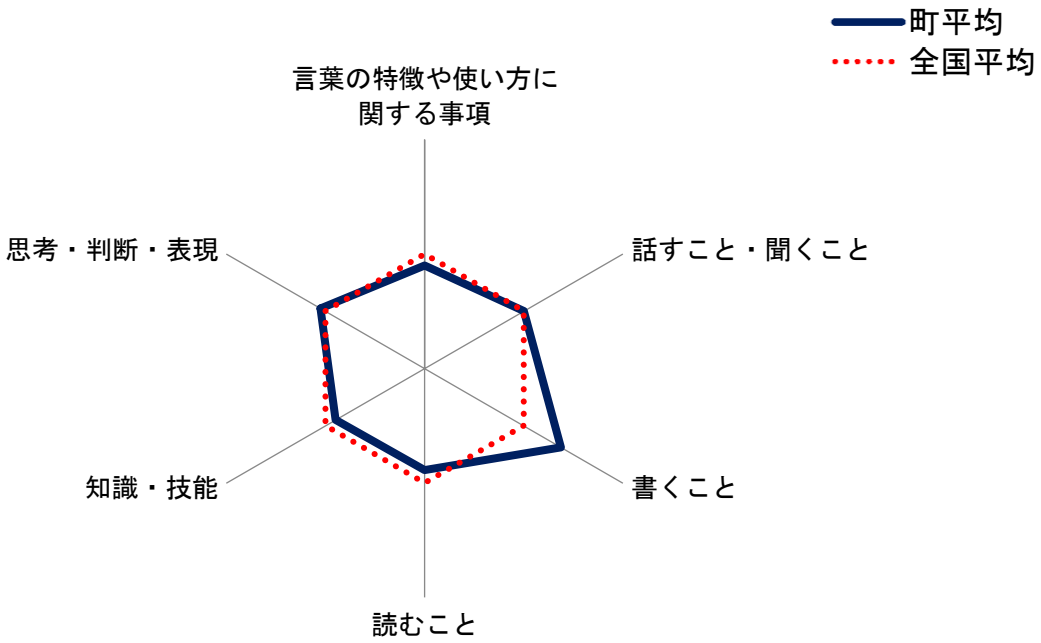
小学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（各教科観点別等の状況）結果

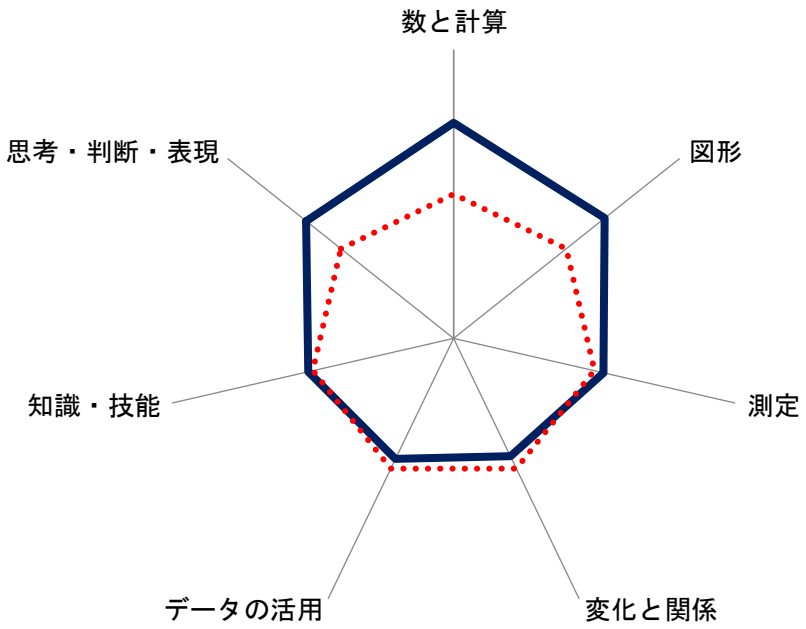
鬼北町

○　教科に関する調査（全国の平均正答率との差）

【国語】



【算数】

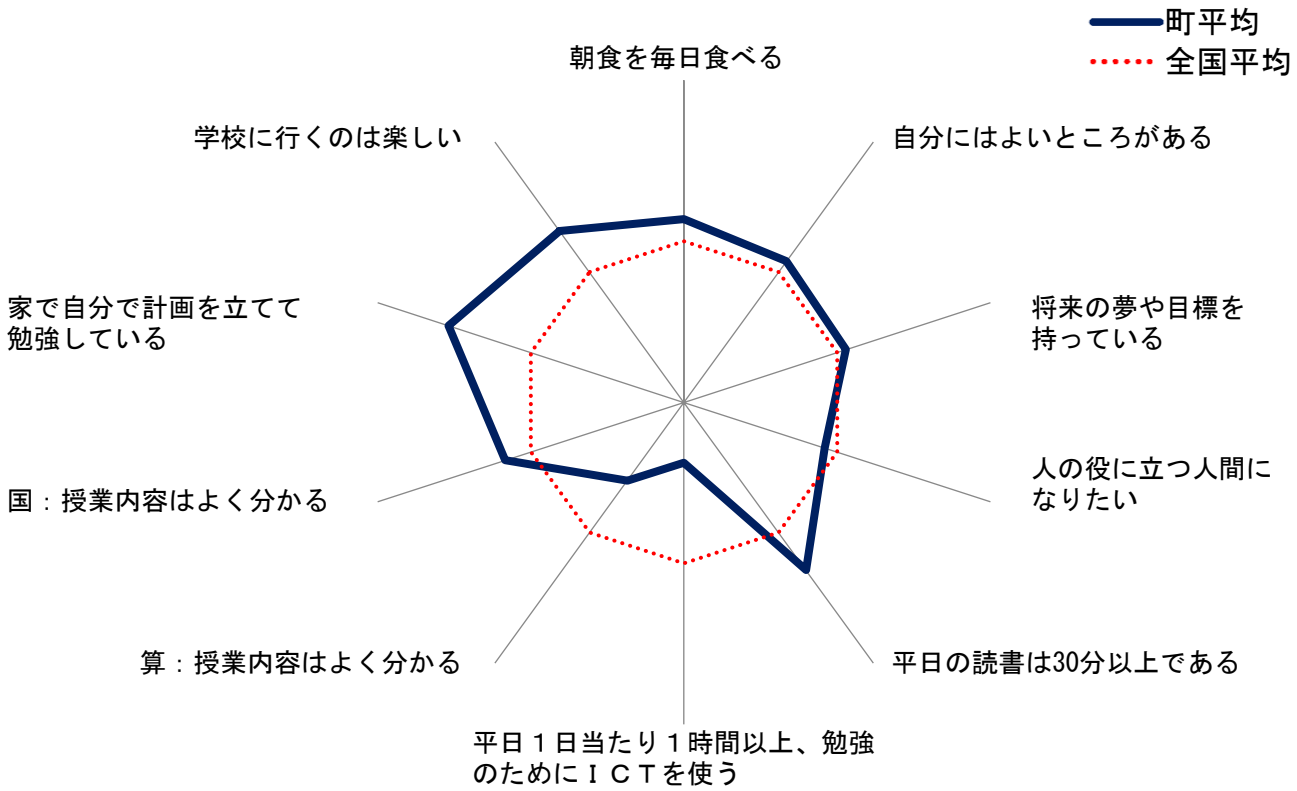


小学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（学習や生活の状況）結果

鬼北町

○　児童質問紙調査（全国の平均回答率との差：肯定的な回答）



○　結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数の「数と計算」「図形」の項目、国語の「書くこと」の項目が全国平均を大きく上回っている。一方、国語の「読むこと」、算数の「変化と関係」「データの活用」の項目は全国平均を下回っており、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後は、考える過程を大切にした授業展開の工夫に引き続き取り組み、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「家で自分で計画を立てて勉強している」の項目が全国平均を大きく上回っており、主体的に学習に取り組む態度の育成が図られていることがうかがえる。一方、「平日１日当たり１時間以上、勉強のためにＩＣＴを使う」の項目は、中学校と同様に全国平均を大きく下回っており、学校、家庭、地域が一体となって、ＩＣＴの積極的な活用を進めていくことが望まれる。